

平成28年度 基本評価調書

施策名	薬物乱用防止対策の推進	所管部局	保健福祉部	作成責任者	保健福祉部長 村木 一行	施策コード	04 - 08
		照会先	保健福祉部地域医療推進局医務薬務課医務薬務G(内線25-330)	関係課	医務薬務課		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)	総合計画の指標	
	I	1 生活・安心	(5) 道民生活の安全の確保と安心の向上	道民の命とくらしを守る安全・安心な社会づくり	刑法犯認知件数、重要犯罪の検挙率	
	II					
	III					
	IV					
北海道創生総合戦略			北海道強靱化計画	新・北海道ビジョン	C09706	
特定分野別計画等	新・北海道保健医療福祉計画					
現状と課題	<p>・薬物乱用問題は、世界の国々で深刻な政治・社会問題となっており、覚醒剤を主とする薬物乱用は一層広域化、低年齢化の傾向を示し、今後の社会を担うべき青少年の乱用問題は深刻な状況にある。</p> <p>・道では、薬物乱用防止対策北海道推進本部を中心に関係機関・団体が連携・協力して積極的な対策を実施しており、また、「北海道危険薬物の使用等の規制等に関する条例」を制定し、平成27年9月から施行とされたところであるが、道内における薬物事犯の検挙者数は高止まりの傾向であり、中・高校生等の青少年による大麻等の薬物事犯も、依然として後を絶たず、また、近年では、危険ドラッグの使用による健康被害が全国的に発生するなど、憂慮すべき事態である。</p> <p>・薬物乱用の撲滅に向け、道民・関係機関・団体が一体となって、薬物の需要と供給から根絶に向けた取り組みを進める必要がある。</p>			施策目標	<p>・覚醒剤、大麻や危険ドラッグなど薬物乱用防止の普及啓発を推進する。</p> <p>また、薬物依存、中毒者の社会復帰支援や再使用の防止のため関係機関等の連携を強化する。</p> <p>・正規ルートからの不正流出を防止等するため、医療機関、薬局等の立入検査・指導を強化する。</p> <p>また、危険ドラッグの販売実態の調査等、販売業者等に対する指導取締を強化する。</p>	
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>【普及啓発】</p> <p>〔道〕①各種施策や計画等の策定・推進管理 ②各種媒体による普及啓発 ③街頭啓発 ④薬物乱用防止教室等の実施 など</p> <p>〔国〕①各種施策や計画等の策定・推進管理 ②各種媒体による普及啓発 ③啓発資材の作成配布 ④事業展開の呼びかけ など [関係府省]内閣府、厚生労働省等</p> <p>【取締等】</p> <p>〔道〕①各種施策や計画等の策定・推進管理 ②医療機関・麻薬等取扱者への立入検査・指導 など</p> <p>〔国〕①各種施策や計画等の策定・推進管理 ②医療機関・麻薬等取扱者への立入検査・指導 など</p>			施策の予算額		
				H27	7,456	
				H28	7,315	
今年度の主な取組	<p>○覚醒剤、危険ドラッグ等の薬物乱用の有害性、危険性並びに薬物乱用防止についての積極的な広報活動の推進を図るため、街頭啓発やポスター・チラシなどによる普及啓発、薬物乱用防止教室を実施する。</p> <p>○重点除去地域における新たな除去対策や監視体制の整備を盛り込んだ「平成28年度野生大麻・不正けし撲滅運動方針」を策定し、重点除去地域を中心に野生大麻の除去及び不正けしの除去対策を実施する。</p>					

◎:主要指標に係る取組
○:その他の取組

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
実 績 と 成 果 等		総合戦略	強靱化	ビジョン
【普及啓発】 ・「薬物乱用防止対策実施要綱」「青少年薬物乱用防止対策推進方針」「野生大麻・不正けし撲滅運動方針」の策定(平成27年度、平成28年度) ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施(平成27年度:①全道21地区で6・26ヤング街頭キャンペーンの実施(569名参加)②地域団体キャンペーンの実施(310店舗)、平成28年度:実施中) ・薬物乱用防止教室の実施(平成27年度:124箇所、平成28年度:実施中) ・野生大麻・不正けし撲滅運動の実施(平成27年度:野生大麻655,801本・不正けし10,325本、平成28年度:実施中)				
【取締等】 ・麻薬取扱施設への立入検査の実施(平成27年:1,531施設、平成28年:実施中)				
【その他】 ・「北海道危険薬物の使用等の規制等に関する条例」の制定(平成27年9月施行) ・危険薬物の指定(平成28年2月:3物質、平成28年3月:5物質1植物、平成28年6月:4物質)				C09706
(2) その他の取組の成果等				
国等提案・ 要望状況		施策に 関する 道民ニーズ	各市町村から推薦のあった方に北海道薬物乱用防止指導員を委嘱しており、地区協議会においてこれらの方も含めて協議をして地域の実情に応じた薬物乱用防止啓発活動を実施している。	

平成28年度 基本評価調書

施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	04 — 08
-----	-------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 目標等の設定 (その2)

2-2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
—	環境生活部とともに、青少年に対する薬物乱用防止教室の開催など、連携して青少年等に対する普及啓発を推進する。	N0311	環境生活部くらし安全局 道民生活課	・薬物乱用防止対策北海道推進本部において「青少年薬物乱用防止対策推進方針」を策定するとともに、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動(6・26ヤング街頭キャンペーンなど)、薬物乱用防止教室等を実施した。
—	教育庁とともに、各学校での薬物乱用防止教室の開催など、連携して小・中学生及び高校生に対する普及啓発を推進する。	N1103	学校教育局 健康・体育課、生涯学習課	
—	北海道警察とともに、野生大麻に係る監視体制を整備し、除去対策を実施するとともに、危険ドラッグ販売業者・店舗に対する監視指導を実施する。	N2101	刑事部組織犯罪対策局 薬物銃器対策課	・薬物乱用防止対策北海道推進本部において「野生大麻・不正けし撲滅運動方針」を策定するとともに、野生大麻・不正けしの除去を実施した。

平成28年度 基本評価調書

施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	04 — 08
-----	-------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	—					
刑法犯認知件数(件)		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	—	達成度合	A	評価年度	H27	北海道警察本部と数値を共有し、薬物乱用防止対策の推進の観点から薬物事犯の減少について関与している。
		基準値	40,359	目標値	35,457	最終目標値	—	年度	H27	H28	進捗率	
[指標の説明] 警察において発生を認知した刑法犯の件数 ※暦年による数字		根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	40359.0	35457.0		
		北海道総合計画		減少		$\frac{(\text{目標値})}{(\text{実績値})} \times 100$		実績値	35457.0	—		
								達成率	113.8%	—		

主②	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	—					
重要犯罪の検挙率(%)		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	—	達成度合	B	評価年度	H27	重要犯罪(殺人、強盗、強姦、強制わいせつ、放火、略取誘拐、人身売買)に薬物事犯は含まれない。
		基準値	67.3	目標値	67.8	最終目標値	—	年度	H27	H28	進捗率	
[指標の説明] 警察が認知した重要犯罪の件数に対する検挙した件数の割合 ※暦年による数字で過去5年平均		根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	67.3	67.8		
		北海道総合計画		増加		$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$		実績値	67.1	—		
								達成率	99.7%	—		

—	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37					
	薬物乱用防止啓発活動を行っている北海道薬物乱用防止指導員各地区協議会数	基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	A	評価年度	H27	二次医療圏ごとに地区協議会を設置し、薬物乱用防止啓発活動等を実施した。
		基準値	21	目標値	21	最終目標値	21	年度	H27	H28	進捗率	
[指標の説明] 標記協議会は、全道域で薬物乱用防止に係る啓発活動を行うために、道内21医療圏ごとに設置しているもの		根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	21	21	21.0	
				維持		$(\text{実績値}) / (\text{基準値}) \times 100$		実績値	21	—	21.0	
								達成率	100.0%	—	100.0%	

—	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H27年	年度	H28年	最終年度	H37					
	麻薬取扱施設への監視指導数	基準年度	H27年	年度	H28年	最終年度	H37	達成度合	A	評価年度	H27	麻薬取扱施設数4593施設中、1531施設に立入検査を実施した。(平成27年)
		基準値	30%	目標値	30%	最終目標値	30%	年度	H27	H28	進捗率	
[指標の説明] 道内での麻薬取扱施設への立入検査実施の割合		根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	30%	30.0%	30.0%	
				維持		$(\text{実績値}) / (\text{基準値}) \times 100$		実績値	33.0%	—	33.0%	
								達成率	110.0%	—	110.0%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由								判定	A	B	C	D	—	結果
								(直近の達成率(%))	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
								主要指標	1	1				
								関連指標	2					

<様式5>

Do & Check

施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標		<刑法犯認知件数(件)【A】> ・刑法犯認知件数は35457件だった。(平成27年度)。北海道警察本部と数値を共有し、薬物乱用防止対策の推進の観点から薬物事犯の減少について関与している。 <重要犯罪の検挙率(%)【B】> ・重要犯罪の検挙率は67.1%だった。(平成27年度)。重要犯罪に薬物事犯は含まれないが、施策の推進による一定の効果はあるものと考えられる。	<施策全体に対して、もれなく有効な取組がなされているか> ・二次医療圏ごとに北海道薬物乱用防止指導員地区協議会を設置して地域の実情に応じた薬物乱用防止啓発活動を実施するとともに、麻薬取扱施設に監視指導を実施しており、効果的な取組を推進していると認められる。 <施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか> ・薬物乱用防止対策の推進に当たり、関係部とともに薬物乱用防止対策北海道推進本部において協議を行い薬物乱用防止対策を推進しており、関係部と連携した成果が確認できる。	+評価
関連指標		<薬物乱用防止啓発活動を行っている北海道薬物乱用防止指導員各地区協議会数【A】> ・二次医療圏ごとに地区協議会を設置し、薬物乱用防止啓発活動等を実施した。 <麻薬取扱施設への監視指導数【A】> ・麻薬取扱施設数4593施設中、1531施設に立入検査を実施した。(平成27年)		

総合評価	概ね順調に展開	評価の要	指標の達成度合は概ね順当であるため、評価は「概ね順調に展開」とする。
------	---------	------	------------------------------------

次年度に向けての課題と今後の方向性(対応方針)		(関連する計画等)		
方針	課題と方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
①	【普及啓発】 薬物事犯による検挙者数は依然として高い水準で推移しており、特に、中・高校生等の青少年による大麻等の薬物事犯も後を絶たず、また、危険ドラッグの使用による健康被害も発生していることから、引き続き、薬物乱用の撲滅に向け啓発活動を実施する。			C09706
②	【取締等】 ・立入検査を実施した麻薬取扱施設1531施設のうち、75施設において違反を指摘し指導を行っており(平成27年度)、引き続き、麻薬等の適正管理・使用に向け立入検査等を実施する。			

平成28年度 基本評価調書

施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	04 - 08
-----	-------------	-------	---------

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	04-08
-----	-------------	-------	-------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価（平成29年度の方向性）（再掲）							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業（整理番号）	終期なし	推進事項								
04030800	麻薬等取締費		○		○	継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	
04031000	覚せい剤乱用防止啓発事業費		○		○	継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部署等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
①	【普及啓発】 <新たな取組等> 引き続き、関係部と連携し、北海道薬物乱用防止指導員地区協議会の活動を通じ、地域の実情に応じた薬物乱用防止啓発活動を実施する。
②	【取締等】 <新たな取組等> 引き続き、麻薬等の適正管理・使用に向け立入検査等を実施する。

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応

平成28年度 基本評価調書

施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	04 — 08
-----	-------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	0 事業	0 事業	0 事業	2 事業	0 事業	0 事業	0 事業	2 事業
反映結果	0 事業	0 事業	0 事業	2 事業	0 事業	0 事業	0 事業	2 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
0 事業